

# 兵庫県但馬水産技術センターだより

## 貝毒情報(イワガキ) TKD-01-03 号

令和元年 8 月 7 日発行

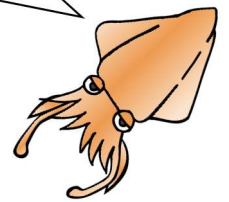
プランクトン及び貝毒検査を 8 月 5 日～8 月 7 日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

### 【概況】

- ・貝毒検査(8/7)の結果、今回検査した地点では麻痺性貝毒は検出されませんでした。
- ・貝毒の原因となるプランクトンの出現はごくわずかでした。

### 【検査結果】

年月日 (採水・採取)		R1.8.5	R1.8.5
地 点 (St.)		香住	浜坂
貝類の毒化状況 〔マウスユニット/g〕	麻痺性貝毒	ND	ND
麻痺性貝毒原因プランクトン	アレキサンドリウム タマレンセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/mL)	0	0
	アレキサンドリウム カテネラ <i>Alexandrium catenella</i> (個数/mL)	0	0
	ギムノディニウム カテナータム <i>Gymnodinium catenatum</i> (個数/mL)	0	0
下痢性貝毒原因プランクトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/mL)	0	0
	ディノフィシス アクミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/mL)	0	0
	ディノフィシス コウダータ <i>Dinophysis sp. (caudata類似種)</i> (個数/mL)	0	0.02



※NDとは検出限界以下のことです。



### <規制の基準>

可食部の毒量が、  
麻痺性貝毒:4 マウスユニット/g  
下痢性貝毒:0.16mg オダ酸当量/kg } を超えた場合

### <注意が必要なプランクトン密度>

#### ・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

アレキサンドリウム タマレンセ  
*Alexandrium tamarense* 5 個数/mL 以上  
アレキサンドリウム カテネラ  
*Alexandrium catenella* 50 個数/mL 以上

#### ・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

ディノフィシス フォルティ  
*Dinophysis fortii* 50 個数/mL 以上

※プランクトン密度の単位は個数/mL と表記します。(海水 1 ミリリットルあたりのプランクトン個数)  
(mL:ミリリットル、1mL は 1L の千分の一)

### 【今後の情報予定】

- ・今年度の但馬地域における貝毒調査(定期)は、本調査をもって終了です。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター (担当: 鈴木 Tel: 0796-36-0395)  
兵庫県但馬県民局但馬水産事務所 (担当: 水産課・笹江 Tel: 0796-36-1153)  
ホームページ: <http://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm>